

第26回 岸本カバス・リサイタル

ピアノ：村上弦一郎 朗読：森山 太



チャイコフスキの愛と祈り

愛と祈り

Chikara Kishimoto

2012年11月4日(日) 19:00開演
東京文化会館小ホール JR上野公園口

入場料[全自由席] = 一般 4,000円 学生 3,000円

チケット取り扱い

二期会チケットセンター ☎03-3796-1831
東京文化会館チケットサービス ☎03-5685-0650

※曲目は変更になる場合があります。予めご了承ください。

マネジメント ◆ 公益財団法人東京二期会

お問い合わせ ◆ 二期会チケットセンター ☎03-3796-1831

後援 ◆ ロシア連邦大使館 / ロシア連邦交流庁 (Rossotrudnichestvo)
毎日新聞社 / 日本・ロシア音楽家協会 / 公益財団法人東京二期会
二期会ロシア歌曲研究会 / 二期会ロシア東欧オペラ研究会



第26回 岸本カ バス・リサイタル

今年2012年2月17日モスクワ郊外の大統領公邸で、メドベージェフ大統領（当時）から、ロシア文化の振興の功績を讃えるプーシキン・メダル（ロシア文化勲章）を受章しました。ただひたすらロシア音楽を愛し歌い続けてきた私にとりまして驚くべき大きなプレゼントでした。

これからも音楽を愛する人々へ、生きる力と勇気を伝えられるように歌っていきたくて考えています。

今回のリサイタルは、気心の知れたピアノの村上弦一郎氏、朗読の森山太氏と共にチャイコフスキーに挑みます。

皆様にチャイコフスキー歌曲の魅力を、少しでも楽しんでいただければ幸いです。

チャイコフスキーの愛と祈り



メドベージェフ大統領とモスクワ郊外の大統領公邸にて



村上弦一郎

ピアノ

MURAKAMI Gen-ichiro

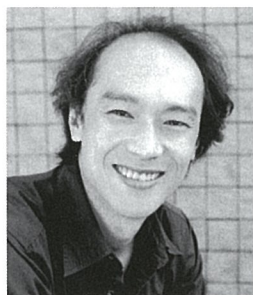


1971年、第40回 NHK 毎日音楽コンクール第一位を得、翌年ショパン協会の主催でデビュー。1973年桐朋学園大学卒業後、ルーマニアのブカレスト音楽院へ留学。各国のコンクールで上位入賞。1978年にはチャイコフスキー国際コンクールでファイナルディプロマを獲得している。以後も、国内、ヨーロッパ各地で、リサイタルをはじめ、室内楽、各オーケストラとの共演、放送局での録音、と幅広く活動。新作の発表にも意欲的に取り組んでいる。2005年2月、10月のリサイタル、ベートーヴェン交響曲「田園」「英雄」のトランスクリプションでも高い評価を受ける。2002年9月には、GEN 室内管弦楽団を結成し、国内での公演は10回を越える。2004年には渡欧し、ドイツ・ハイデルベルク公演、コンチェルトの夕べで好評を博した。ディヌ・リパッティ国際コンクール（ブカレスト）、日本音楽コンクールを始め数多くのコンクールでの審査員を務める。2000年4月～2001年3月ハイデルベルク大学客員研究員（ドイツ）。2003・2004年日本音楽コンクール審査員。2006～2009年全日本学生音楽コンクール審査員。2011年8月23日に「村上弦一郎デビュー40周年記念演奏会」（サントリー大ホール）開催。現在、桐朋学園大学教授。

森山 太

俳優 ナビゲータ

MORIYAMA Futoshi



1996年から2000年まで劇団と契約し全国の小中学校をまわるミュージカル公演に参加。1000本以上の舞台に出演。市川猿之助スーパー歌舞伎「オグリ」、オペラ《魔法の笛》ザラストロ役、ストラヴィンスキー作曲《兵士の物語》、多摩シティオペラ《フィガロの結婚》モーツァルト役、オペレッタ《こうもり》フロッシュ役、《マクベス》（シェイクスピア）、《サルタン王物語》、《よだかの星》（宮沢賢治）、《夜叉ヶ池》（泉鏡花）など、その他多くの舞台に出演。また、俳優として活動を続ける一方、劇団朋友研究生による「法王庁の避妊法」の演出を手がけ、その他各種コンサートやオペラ（『フィガロの結婚』『魔法の笛』『椿姫』『ジャンニ・スキッキ』など）の演出も多数手がける。2003年からは自らの構成で、ピアニスト岩崎能子氏とともに「ピアノと語り」のライブを開催。現在では、舞台・映像・CMなど、多方面に活動の分野を広げている。

岸本 力

バス

KISHIMOTO Chikara

東京藝術大学卒業、同大学院修了。1973年、日本フィル「第九」、大阪フィル「森の歌」でデビュー。1976年文化庁派遣芸術家在外研修員としてイタリア、オーストリアに留学。1977年ローマ・サンタ・チェチーリア・アカデミー修了。第41回日本音楽コンクール第1位、第17回海外派遣コンクール特別賞、第5回チャイコフスキー国際コンクールで最優秀歌唱賞。ジュネーブ国際コンクール銀賞。ヴィオッティ国際コンクール銀賞を受賞。NHK-TV・ラジオなどに出演する他に、《第九》《森の歌》などのバス・ソロ、1984年の「ショスタコーヴィチ歌曲の夕べ」のリサイタルでは第39回文化庁芸術祭で優秀賞受賞。オペラでは《ボリス・ゴドゥノフ》国境警備をはじめ、《夢遊病の女》ロドルフォ公爵、《魔法の笛》ザラストロ、《青ひげ公》青ひげ公、《セヴィリアの理髪師》バジリオ、《モーツァルトとサリエリ》サリエリ、《コシ・ファン・トゥッテ》アルフォンソ、《フィガロの結婚》バルトロ、《後宮からの誘拐》オスミン、《ドン・カルロ》フィリッポ2世、《シモン・ボッカネグラ》フィエスコ、《ペレアスとメリザンド》アルケ王、《ムツェンスク郡のマクベス夫人》ボリス等を演じた。1992年ショスタコーヴィチ作曲《交響曲第14番》「死者の歌」（秋山和慶指揮／東響）にバス・ソロで出演。1993年にはタン・ドゥン作曲《オーケストラ・シアターⅡ：Re》（岩城宏之指揮／東響）の世界初演に出演し話題を呼んだ。1998年ショスタコーヴィチ作曲《交響曲第13番》「パピ・ヤール」、2001年ショスタコーヴィチ作曲《ステンカ・ラージンの処刑》（いずれも長田雅人指揮／オーケストラ・ダスピ）に出演。最近では、2003年デビュー30周年記念リサイタル、又2003年、2004年、2006年と日本フィルとの「ロシア民謡コンサート」を開催し成功をおさめた。ロシア音楽をライフワークにしており、未知の歌曲群の紹介、ロシア歌曲集の編集などの活動は目覚ましく、日本屈指バス歌手であると同時に、ロシア音楽の第一人者である。2010年12月「永年にわたり、ロシア芸術歌曲や民謡を中心に優れた演奏をし、我が国におけるロシア音楽の普及・振興に多大な貢献をしたとして」文化庁長官表彰賞受賞。2012年2月ロシアのメドベージェフ大統領からプーシキン・メダル（ロシア文化勲章）受章。キング・インターナショナルより『つかれた太陽—岸本力・ロシア民謡集』をリリース。武蔵野音楽大学講師、日本音楽コンクール、静岡国際オペラコンクール、学生音楽コンクール等の各審査員歴任。二期会幹事。日本・ロシア音楽家協会運営委員。二期会ロシア歌曲研究会及び二期会ロシア東欧オペラ研究会代表。